

「2017 ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金キャンペーン

11月25日(日) 14:30~15:30 【「ユニセフハンド・イン・ハンド」募金キャンペーン】

イオンスーパーセンター東与賀店 (佐賀市東与賀町) にて

【参加者：柳川市立矢ヶ部小学校児童、保護者、矢ヶ部小学校職員の皆様
総勢 24名】

「2017 ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金キャンペーンが始まりました

ハンド・イン・ハンドって なに?

世界の子も達のしあわせと明るい未来を実現させるために市民一人ひとりがボランティアとして参加する、全国一斉の募金活動です。
今年で三十九回目を迎えます。

今年のテーマ・・・『子どもたちに生きるチャンス』



©UNICEF/UNI178392/Pirozzi

およそ5秒に1人の子どもたちが5歳の誕生日を迎える前に命を落としています。

左の写真は、栄養状態を知るため、上腕の測定を受けるエリトリアの1歳の男の子です。赤色は「重度の栄養不良」であることを指します。

5歳の誕生日を迎える前に命を落としてしまう原因の半分以上に栄養不良がかかわっています。世界の5歳未満児死亡率は1990年から半分以下に減少しましたが、その一方で、およそ約5秒にひとりの子もたちが予防可能な原因で5歳の誕生日を迎える前に命を落としています。世界のどこに生まれても尊い命。皆さまのあたたかいご支援で、世界の子どもたちに生きるチャンスを届けたいと願っています。

- 今年も上記の趣旨やテーマで、2017年度のハンドインハンドの募金活動が11月~12月にかけて全国で一斉に始まりました。佐賀県ユニセフ協会でも多くのボランティア協力者を募り、各会場で募金活動をはじめました。
- 11月25日(日)に、福岡県柳川市の矢ヶ部小学校の子どもたちや保護者の皆さん、そして、先生方が「イオンスーパーセンター東与賀店」を会場とするハンドインハンドの募金活動に参加してくださいました。毎年、市役所のバスを利用しての参加に心から感謝をいたします。
- 小学生やかわいい弟さんたちも「ぼきんをおねがいます！」と大きな声で呼びかけ、また、保護者や先生方は、募金で多くの命が救われること等を分かり易く伝えていただきました。



【募金を呼びかける子どもたち】



【お母さん達や先生方も笑顔で募金の呼びかけ】



【イオンスーパーセンターでの募金活動ありがとうございました】

■イオンスーパーセンター東与賀店様には、“雨が降って寒いだろう”という事で、正面の入り口内で募金活動ができるようにご配慮いただきました。有難うございました。